

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	筑波学院大学
設置者名	学校法人筑波学院大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
経営情報学部	ビジネスデザイン学科	夜・通信	6	—	14	20	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.tsukuba-g.ac.jp/faculty/syllabus/

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	筑波学院大学
設置者名	学校法人筑波学院大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

平成31年度（2019年度）事業計画 https://www.tsukuba-g.ac.jp/information/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	専門学校校長・役員	平成30年9月10日 ～令和2年3月31日	学校経営実務の専門家
非常勤	国立大学非常勤講師 国立大学名誉教授	平成30年9月10日 ～令和2年3月31日	学校運営（教学）の専門家
(備考) 任期は3年であるが、初年度の特例として、寄付行為附則で、平成32年3月31日までとなっている。 したがって、平成30年9月10日～令和2年3月31日まで			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	筑波学院大学
設置者名	学校法人筑波学院大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>○シラバスの作成過程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2月下旬 科目担当教員にシラバス作成依頼 ・ 3月初旬 シラバス入力内容を教務委員が確認する。入力内容に不備のある教員へフィードバックし、再入力を依頼する。 ・ 4月初旬 履修登録前にシラバスをWebにて公表する。 <p>○シラバスへの記載事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 科目名 ・ 担当教員 ・ 授業形態 ・ 単位数 ・ 開講学期、曜日、時限 ・ 科目区分 ・ 対象となる資格 ・ キーワード ・ 履修条件 ・ 授業概要 ・ 授業の到達目標 ・ 事前、事後学修 ・ 授業計画 (15回) ・ 評価方法 ・ フィードバックの方法 ・ テキスト ・ 参考文献 <p>○シラバスの公表</p> <p>大学HPにより、公表している。 https://www.tsukuba-g.ac.jp/syllabus/</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.tsukuba-g.ac.jp/syllabus/

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

○学習成果の評価方法

シラバスには、各科目の到達目標が公表されており、その学習成果の評価方法もシラバスに公表されている。

評価は100点満点で、S(90点以上)、A(80～89点)、B(70～79点)、C(60～69点)、F(59点以下)で表記され、S、A、B、Cが合格で、単位修得となる。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

1. GPAの算出方法

GPAは、成績表記のSを4点、Aを3点、Bを2点、Cを1点とし、以下の計算式により、算出する。

$$\text{GPA} = \frac{4.0 \times \text{Sの単位数} + 3.0 \times \text{Aの単位数} + 2.0 \times \text{Bの単位数} + 1.0 \times \text{Cの単位数}}{\text{成績評価された授業科目の総単位数 (Fを含む)}}$$

(1) GPA算出対象科目

卒業要件科目が対象となります。卒業要件に含まれない資格科目（教職科目や学芸員資格科目）はGPAの算出に含まれません。

(2) 再履修におけるGPA算出

不合格（F評価）となった科目を再履修し、単位が与えられた場合、再履修後の評価をGPA算出の基礎とし再計算します。但し、過去にF評価を得た学期・年度のGPA及び、再履修して合格となる前年度までの累計GPA表記は変わりません。

2. GPAの対象とならない科目

以下に掲げる授業科目は、GPA算出の対象となりません。

- ① 履修を取りやめた科目（成績表には「失格」と表記）
- ② 正当な理由により試験を受けられなかった科目（成績表には「欠試」と表記）
- ③ 認定科目（他大学などで履修した、単位読み替えの科目）
- ④ 成績評価が保留となっている科目（成績表には「保留」と表記）

3. GPAに基づく指導及び卒業要件等

(1) GPAによる指導等

- ①各学期のGPAが1.5未満となった学生に対しては、クラス担任による注意と指導を行います。
- ②各学期のGPA 1.5未満が2学期連続、または通算で3学期になった学生に対しては、本人及び保護者を呼び出し、クラス担任による注意と指導を行います。
- ③各学期のGPA 1.5未満が3学期連続、または通算で4学期となった学生に対しては、本人及び保護者を呼び出し、退学を勧告します。

但し基準の見直しがあった場合は、新基準に準拠します。

(2) 卒業要件

卒業するには、本学において定められた期間の在学、定められた授業科目を含む124単位以上の修得のほか、原則として入学時から累計GPAが1.5以上であることを要します。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

全学生への入学時配付物「学院生活便覧」

平成31年度（2019年度）学院生活便覧（HPに掲載）
<https://www.tsukuba-g.ac.jp/faculty/syllabus/>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>○学位授与の方針（ディプロマポリシー）</p> <p>方針概要</p> <p>ビジネスデザイン学科の課程を修め、所定の期間（原則として4年間）在学し、学部の教育理念・教育目標に沿って設定した授業科目を履修し、経営情報分野におけるマネジメント能力と情報スキルを身につけ、社会に貢献できる自立した人材に対し学位を授与する。学修成果として身につける力は以下に示す。</p> <p>① 現代社会で必要となる情報スキルとマネジメントセンス、国際的な視野をもって活躍できるローカル・グローバルセンスと言語運用力</p> <p>② 困難な状況に対峙できる課題解決のための思考力・判断力</p> <p>③ 国内外の多様な文化・社会的背景をもつコミュニティで社会参画する資質</p> <p>④ 次代の社会を目指す社会貢献・地域創生と人材育成への意欲</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://www.tsukuba.ac.jp/intro/education/</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	筑波学院大学
設置者名	学校法人筑波学院大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.tsukuba-g.ac.jp/information/
収支計算書又は損益計算書	https://www.tsukuba-g.ac.jp/information/
財産目録	https://www.tsukuba-g.ac.jp/information/
事業報告書	https://www.tsukuba-g.ac.jp/information/
監事による監査報告(書)	https://www.tsukuba-g.ac.jp/information/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.tsukuba-g.ac.jp/information/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

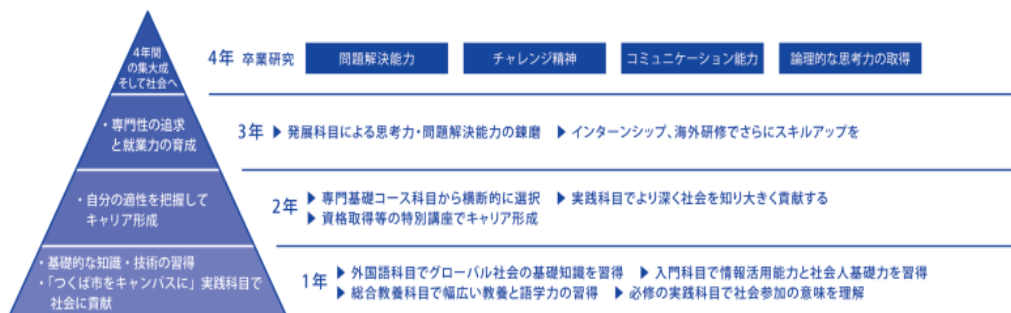
学部等名 経営情報学部
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.tsukuba-g.ac.jp/intro/education/)
(概要) 筑波学院大学は 21 世紀のグローバル社会で、自立して社会に貢献できる人材の育成をめざしています。筑波学院大学の教育目標は、豊かな知識と知性を磨き、高度情報化社会で活躍できる技術を持ち、国際的な視野にたって社会に貢献する意欲をもつ人材を育てることです。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.tsukuba-g.ac.jp/intro/education/)
(概要) (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)
方針概要 ビジネスデザイン学科の課程を修め、所定の期間（原則として 4 年間）在学し、学部の教育理念・教育目標に沿って設定した授業科目を履修し、経営情報分野におけるマネジメント能力と情報スキルを身につけ、社会に貢献できる自立した人材に対し学位を授与する。学修成果として身につける力は以下に示す。
① 現代社会で必要となる情報スキルとマネジメントセンス、国際的な視野をもって活躍できるローカル・グローバルセンスと言語運用力
② 困難な状況に対峙できる課題解決のための思考力・判断力
③ 国内外の多様な文化・社会的背景をもつコミュニティで社会参画する資質
④ 次代の社会を目指す社会貢献・地域創生と人材育成への意欲

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法 : <https://www.tsukuba-g.ac.jp/intro/education/>)

(概要)

初年次に本学で学ぶための基礎的な知識・技術を習得し、2年次以降、自分の目指すキャリアに合わせた科目を5コースの専門分野から横断的に履修できるよう編成しています。また、主体的に社会へ参画できる人材育成のために、社会参加活動を行うカリキュラムを有する実践科目等を必修としています。



入学者の受入れに関する方針

(公表方法 : <https://www.tsukuba-g.ac.jp/intro/education/>)

(概要)

筑波学院大学の教育理念を理解し、自立した職業人として社会に貢献したいとの希望をもつ学生、すなわち国際教養を深め、社会生活・職業生活に必要なマネジメント能力と情報スキルを習得することにより、地域社会を豊かにしたいとの意欲がある学生を受け入れます。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法 : <https://www.tsukuba-g.ac.jp/intro/history/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
経営情報学部	—	12人	7人	3人	3人	1人	26人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			57人				57人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)			公表方法： https://www.tsukuba-g.ac.jp/faculty/teacher/				
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
経営情報学部	200人	210人	105%	800人	643人	80%	若干名人	6人
合計	200人	210人	105%	800人	643人	80%	若干名人	6人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
経営情報学部	85人 (100%)	0人 (%)	77人 (90.6%)	8人 (9.4%)
合計	85人 (100%)	0人 (%)	77人 (90.6%)	8人 (9.4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>○シラバスへの記載事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科目名 ・担当教員 ・授業形態 ・単位数 ・開講学期、曜日、時限 ・科目区分 ・対象となる資格 ・キーワード ・履修条件 ・授業概要 ・授業の到達目標 ・事前、事後学修 ・授業計画（15回） ・評価方法 ・フィードバックの方法 ・テキスト ・参考文献 <p>○シラバスの公表</p> <p>大学HPにより、公表している。 https://www.tsukuba-g.ac.jp/syllabus/</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>○学習成果の評価方法</p> <p>シラバスには、各科目の到達目標が公表されており、その学習成果の評価方法もシラバスに公表されている。</p> <p>評価は100点満点で、S（90点以上）、A（80～89点）、B（70～79点）、C（60～69点）、F（59点以下）で表記され、S、A、B、Cが合格で、単位修得となる。</p> <p>○GPAの算出方法</p> <p>GPAは、成績表記のSを4点、Aを3点、Bを2点、Cを1点とし、以下の計算式により、算出する。</p> $GPA = \frac{4.0 \times S \text{ の単位数} + 3.0 \times A \text{ の単位数} + 2.0 \times B \text{ の単位数} + 1.0 \times C \text{ の単位数}}{\text{成績評価された授業科目の総単位数 (Fを含む)}}$				
学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
経営情報学部	ビジネスデザイン 学科	124 単位	有・無	44 単位

G P Aの活用状況（任意記載事項）	公表方法：
学生の学修状況に係る参考情報 （任意記載事項）	公表方法：

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.tsukuba-g.ac.jp/intro/establishment/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
経営情報 学部	ビジネス デザイン 学科	710,000円	200,000円	380,000円	施設設備資金

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) ○学習支援センター 語学関係の資格取得、就職採用試験対策講座、日本語リテラシーの補習のために就職支援センターにて、支援を行っている。 ○SAの配置 必修の演習科目を中心に、上級生をSAとして配置している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) ○キャリア教育の必修化 1年次から3年次まで、進路支援科目群にキャリア形成科目を置き必修としている。 1年次：キャリアデザインA 2年次：キャリアデザインB 3年次：就職のための基礎知識A,B ○非常勤のキャリアカウンセラーが週に1回勤務し、学生に対応している。 ○地元のハローワーク職員が月に2回来校し、学生に対応している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) ○学生相談室に週に2回非常勤のカウンセラーを配置し、様々な学生の相談に対応している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： https://www.tsukuba-g.ac.jp 全学生に入学時に配付する「学院生活便覧」
--